

## 博士学位論文要約

論文題目： 効果的な高齢者虐待予防モデル構築に関する研究  
—高齢者福祉施設での虐待の連鎖を断ち切るために—  
氏 名： 任 貞美

### 要 約：

本研究は高齢者虐待の実態を的確に反映し、その実態に即した対応を促す「効果的な高齢者虐待予防モデル」の構築を目指している。以上の研究目的を達成するために、以下の4つの研究課題を設定した。研究課題1. 高齢者虐待の新たな定義と概念を確立するための「研究の課題と方向性」の検討。研究課題2. 虐待の実態を的確に反映しうる「高齢者虐待の定義」の構築。研究課題3. レベルの異なる虐待的行為の差異を区分できる「虐待の概念枠組み」の構築。研究課題4. 虐待発生の経路とメカニズムの解明、有効な虐待予防モデルの提案。質問紙調査や事例分析を行った結果、次のことが明らかになった。1. 虐待の定義の課題は【虐待認識の個人差を減らすためのコンセンサス】【高齢者虐待防止法の虐待定義では対応できない虐待的行為に関する検討】【虐待予防の観点からの不適切なケアの概念導入】からなる7つのカテゴリーにまとめられる。背景要因は【研究方法の難しさ】【虐待定義の範囲を取り巻くジレンマと困難】からなる6つのカテゴリーにまとめられる。2. 準虐待は、「高齢者の尊厳・役割・自律・交流を侵害」から構成されている。3. 法律の虐待と準虐待及び不適切なケアという3つのレベルの虐待的行為には概念的な違いが存在している。4. 虐待発生の経路には3つのパターン（経路）があり、虐待発生のそれぞれの経路によって対処のメカニズムも異なることが明らかになった。以上の研究結果をもとに、「効果的な高齢者虐待予防モデル」を構築するための実践的・政策的・理論的な提言を行った。